2026年11月12日

各 位

会 社 名　株式会社丸八ホールディングス
代表者名　代表取締役社長　樋口　宗夫
（コード：3504　名証メイン市場）
問合せ先　経理グループ長　辻　雄太
（TEL．045-471-0808）

第２四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2026年５月15日に公表いたしました2027年３月期（2026年４月１日～2027年３月31日）第２四半期（中間期）の連結業績予想と本日公表の実績との間に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2027年３月期の通期連結業績予想につきましても下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売　上　高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（Ａ）	5,749	705	1,404	963	62.19
実績値（Ｂ）	6,080	997	1,677	1,228	79.26
増減額（Ｂ－Ａ）	330	291	273	264	－
増減率（％）	5.8	41.3	19.5	27.4	－
（ご参考）前期第２四半期実績（2026年３月期第２四半期）	5,784	770	1,595	1,069	68.99

差異の理由

当第２四半期（中間期）連結累計期間における売上高につきましては、旺盛なインバウンド需要を背景にホテル・旅館向け販売が好調に推移したことや、下半期に予定していた大口の卸売売上の一部が上半期に前倒しとなったこと、ダイレクトセールスの売上が当初予想上回ったことを主因として、当初予想を上回る結果となりました。営業利益につきましては、上記の売上高の増加に加え、物価上昇による原材料価格等のコスト増加による収益性への影響が、全般的な原価・経費見直しの効果等もあり、想定よりも限定的であったことを主因として、当初予想を上回る結果となりました。経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、上記の営業利益の上振れに加え、当初見込んでいなかった投資有価証券売却益及び償還益の計上等により、当初予想を上回る結果となりました。

２．2027年３月期　通期連結業績予想の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売　上　高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（Ａ）	11,600	1,360	2,756	1,844	119.02
今回修正予想（Ｂ）	11,935	1,715	3,194	2,232	144.06
増減額（Ｂ－Ａ）	334	354	438	388	－
増減率（％）	2.9	26.0	15.9	21.0	－
（ご参考）前期実績（２０２６年３月期）	11,836	1,552	4,060	3,705	239.12

修正の理由

通期連結業績予想につきましては、上半期の実績を織り込んだ上で、足元の状況が下半期も概ね継続するものと想定しております。ただし、売上高につきましては、上半期の卸売売上の前倒しの影響や、ダイレクトセールスの足元の受注残等を踏まえた下半期の下振れを織り込んでおります。また、下半期における急激な為替相場の変動はないものと想定しております。これらの結果、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益それぞれを上方修正いたしました。

※上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以　上